

平成29年度 神戸市立海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 " 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 " 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	平成29年4月1日から平成33年3月31日まで
(4)H29市支出額(単位:円)	協定締結額48,311,000円 決算額46,734,510円 (差額1,576,490円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	29年度の状況
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めた為、電力使用料は前年より若干減少し、ガス使用量は前年比で3.1%増加した。
②施設の運営業務	<p>○開館日数 308日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○平成29年度の特記事項は以下のとおり。</p> <p>■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム)</p> <p>(1)企画展 ・「神戸開港150年記念 日本コーヒー開花物語 ―それは笠戸丸移民から始まった―」(5/27～8/30:3,230人) ・「神戸開港150年記念 神戸から世界へ、世界から神戸へ ブラジル移民の船上体験 神戸開港から世界一周航路まで」(10/28～1/21:1,794人)</p> <p>(2)特別展 「南米への移住者の写真展 神戸港と日本人の南米移住写真展」(9/9～10/9:662人) 「大原治雄写真展」(2/17～5/6:2,556人)</p> <p>(3)常設展 ・来館者用パンフレットの作成 など</p> <p>(4)移住ミュージアム企画委員会の開催(H30.3)</p> <p>■多文化との共生の広場(在住外国人支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・移民祭など移民の歴史を啓発する事業 ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など <p>■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、公開アトリエ事業を実施 ・企画展覧会(14回)を実施し、国内外のアーティストの作品を展示

	③その他の業務	<p>○日伯協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル・ポルトガル語講座の開催 ・移住ミュージアムにおける関連品目の販売 ・関連図書・資料の閲覧提供 (図書・資料一覧については分類整理を行ったうえでホームページで公開。) <p>○CBK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルからの訪問団の受入 ・ブラジル民話の発表会 ・移民写真展の開催 ・移動領事館の開催支援 など <p>○CAP</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人から子供まで参加できるアートに関する体験講座「アート林間学校」 ・土曜クラブ ・大人美術部 など 87の自主事業 <p>○3つの団体の連携事業として実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中南米音楽会(4回) ・ブラジル移民祭 ・アート林間学校
(2)利用状況		29年度の状況
	①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数: 29年度59,978人(対前年度比△10.1%) 28年度66,691人(対前年度比+10.8%) ・昨年度に続き、提案時の目標値(51,000人)を上回った(+17.6%)。 ・三宮インフォメーションセンター・新神戸駅観光案内所・北野異人館観光案内所・北野工房でのリーフレット配布、観光タクシー会社へのリーフレット提供など外部施設等へのPR活動を実施 ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) <p>[全館トータル]56.1%(55.5%)</p> <p>[1Fホール]45.5%(73.9%)</p> <p>[2F多目的室] 99.7%(93.8%) [2Fセミナールーム] 12.1%(13.1%)</p> <p>[3F小会議室] 56.9%(42.5%) [3F大会議室] 50.8%(40.7%)</p> <p>[3Fギャラリー③] 100.0%(100.0%)</p> <p>[4Fギャラリー①] 66.2%(56.2%) [4Fギャラリー②] 57.5%(56.2%)</p> <p>[5Fホール] 16.1%(23.3%)</p>
	②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用台数 29年度:3,059台(約10台/日) 28年度 3,510台(約11台/日)
(3)収支状況		29年度の状況
	①使用料または利用料金収入	<p>[貸館事業]・活動支援室 29年度480,000円 28年度480,000円</p> <p>・会議室等 29年度376,000円 28年度292,400円</p> <p>[駐車場使用料] 29年度850,700円 28年度1,034,000円</p> <p>※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料</p>
	②指定管理者の収支状況	神戸市負担額 46,734,510円
(4)その他		29年度の状況
	①来館者に関する特記	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館が増えている。 29年度:52大学(うち関西圏外17、海外8)のべ89回 28年度:47大学(うち関西圏外17、海外6)のべ83回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

※ 本欄には、利用者数や収入額、その他新たなサービスなどについて目標値などの提案があった場合に、その内容と達成状況を再掲すること。

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	・入館者数 51,000人 ・貸館稼働率 48%	・入館者数 59,978人(達成) ・貸館稼働率 56.1%(達成)
②収入目標額	・貸館事業 350,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 376,000円 ・駐車場 850,700円
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

	29年度の状況
①満足度調査の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法: 来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間: 常時 ・回収件数: 29年度1,633件(28年度1,371件) ・質問項目: 来館目的、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
②満足度調査の結果	<p>【施設全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム:34(36)%、在住外国人支援:3(5)%、国際芸術交流:2(4)%、イベント18(21)%、貸館利用2(1)%、その他35(31)%、未記入6(5)% ・知った方法 HP6(7)%、観光案内2(3)%、イベントチラシ6(7)%、新聞4(2)%、紹介20(23)%、通りがかり6(5)%、その他49(44)%、未記入7(8)% ・展示内容 とても良い:47(48)%、良い:32(34)%、普通12(7)%、あまり良くない:0(0)%、良くない:0(0)%、未記入:9(10)% ・再訪の意向 ぜひ来たい:36(38)%、来るかも:54(50)%、来ない:7(7)%、未記入:3(5)%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの苦情については特に見られなかった。 ・アンケート自由意見欄では、「移民の歴史と先人の苦勞が良く分かり、大変勉強になった。」「案内の方の丁寧な説明がとても分かりやすかったです。」という意見が多数見られた。他には、「もっと多くの方に来館されるようPRを工夫した方がいいと思います。」などの意見があった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、ブラジルへの関心を高める企画展を行ったほか、大学など教育関係者の利用が増加したことは評価できる。 ・アンケートをより効果的に活用し、利用者の再訪に向けて取り組んでもらいたい。 ・展示内容を広く市民に周知し、学校教育においても負担なく見学できる体制をとる等、取り組みを行ってほしい。